

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をととして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。



福祉車両を導入しました

事務部長 櫃本 富一

今春、あわら病院に軽四タイプの車椅子積載対応車両が新たに投入されました。今後、障がいをお持ちの方やレスパイト入院でご利用いただく方の搬送力が強化されることと思います。昨年の夏に開設した訪問看護ステーションアイリスもご利用者が増えてきています。この写真の車両が訪問診療だけでなく、訪問看護・訪問介護の場でも活躍することとなるでしょう。

あわら病院訪問看護ステーションアイリスのネーミングはあわら市の花でもある花菖蒲に由来しています。アイリスの語原はギリシャ語の『虹』、そして『虹の女神イーリス』にちなんで名付けられたと言われていますが、虹のように色の美しい花を咲かせてくれるアイリスの一番の特徴は、一輪だけでも十分に存在感のあるその凛としたたたずまいです。アイリス属の花に共通する花言葉は「よい便り」「希望」、そして花菖蒲の花言葉は「優しい心」。まさに訪問看護ステーションアイリスの心にピッタリの名前ですね。

あわら病院は「多くの人の笑顔のために」をpolicyに、地域の皆さま方の在宅医療に取り組んでいます。この新しい車両が地域の皆様方とあわら病院とを結びつけ、お役にたてることが出来ればと願っています。

赴任のご挨拶 ―“地域に求められるところ安らぐ看護の提供”の実現に向けて―



看護部長
藤原 恵子

このたび、平成28年4月1日付
けで、京都医療センターよりあ
わら病院に赴任いたしました、
看護部長の藤原恵子と申しま
す。2025年の地域医療構想が
検討されている中、幹部の一員
として一日も早く地域のニーズ
を知り、求められる使命・役割
を果たせるように努めて参りたい
と思います。

あわら病院は、一般52床・障害120床の入院病床と外来
を含め4看護単位あります。重症心身障がい・難病(血液・
免疫異常・神経難病)・長寿医療を中心に、障害者自立支
援法による通所事業(ディサービス)、居宅事業として訪問
看護ステーションも運営しています。国立病院機構の中
では、いち早く訪問看護ステーションを立ち上げ、地域医療
貢献という役割を果たしていけるよう取り組んでいる病院
です。開設2年目となる訪問看護ステーション『アイリス』
は、ご利用いただく方が安心して在宅に移行できるよう、
「心あたたまる医療」を目指して、医療機関や福祉施設、地

域の方々と協力し取り組んでいきたいと考えています。

今年度看護部では、新人看護師5名を迎え看護職員93
名、療養介助専門員・療養介助員、看護補助者を含め合
計約115名が、多職種と力を合わせています。看護部目標
である『在宅医療、セーフティネット系医療の質の高い専門
分野の看護を実践できる看護・介護職員の育成と経営参
画』の達成に向け、看護部委員会・チーム会が取り組みを
開始しています。教育担当・医療安全・感染管理・地域連
携を始め、緩和ケアや慢性呼吸器疾患看護の認定看護師
や高齢者看護院内認定看護師が、専門性の向上に向け、
教育や実践・研究活動等にも力を入れた取り組みを計画し
ています。

病院の方針である“多くの人の笑顔のために”を心に刻
み、あわら病院をご利用いただく患者さん・ご家族をはじ
め、働いている職員や実習生・

研修生にとっても満足してい
ただけよう、全力を注いで参
りたいと思います。どうぞよろ
しくお願い致します。



あわら病院の在宅医療 ～訪問診療～

内科医長 桐場 千代

「医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自
分らしく生活したい。」と考える人は多く、高齢化社会を
迎えて在宅医療はますます重要な役割を担っていきこう
としています。当院でも積極的に在宅医療に取り組んでい
ますが、3つの特徴があります。①当院周辺の医療過疎
地域における診療所機能、②あわら地域の在宅療養を
支援する病院機能、③国立病院機構の一員としての重症
心身障がい児(者)や神経難病などのセーフティネット領
域の患者さんに対する在宅療養支援機能です。今回は
診療所機能として私が中心となり開始した訪問診療につ
いてご紹介します。

当院周辺には近隣診療所のない地域があり、それらの
地域を対象として毎週金曜日の午後に数件ずつ訪問診
療をしています。主として歩行障害や認知症で外来通院
が難しい患者さんですが、癌や臓器障害(心不全や腎不

全など)の終末期で在宅療養される方も含まれ、ご自宅
での看取りを希望される患者さんも診ています。訪問看
護ステーションの看護師や、ケアマネージャーの方々と相
談しながら患者さんの希望に最大限添えるような、また
ご家族の介護負担を軽減できるような医療を心がけてい
ます。当院の訪問診療も開始から10年目になります。今
年の4月には長年使用していた軽自動車がついに新しい
車になり、私も新たな気持ちで頑張りたいと思っています。

あわら病院は小さな病院
ですが、今後も在宅医療に
何ができるのかを考え、取
組んでいきたいと考えて
います。





地域医療連携施設のご紹介



あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

医療法人 泉壽会 加納病院

皆様、いつもお世話になってます、加納病院です。当院は、旧金津町の中心地域であるJR芦原温泉駅前通り沿いにあり、開業以来約半世紀となります。外来診療は月～土の朝8時から夕方7時まで行っており、祭日も午前中(朝8時から昼12時30分まで)診療を行っています。夜間も院長である私が病院に住んでいるため、入院が必要と思われる重症例に対応しています。診療科として、内科、整形外科、小児科、外科、耳鼻咽喉科、皮膚科等があり、胃大腸カメラ、エコー等の検査も行っています。歯科も同一建物内に併設しており、月～土診察を行っています。入院施設として一般病床40床があり、同一敷地内に、介護老人保健施設(加納老健)、デイケア、看護介護訪問サービス、居宅介護支援事業所等もあり、医療、介護、福祉全般に対応しています。あわら病院の津谷院長先生、桐場先生に様々な事で、見附副院長先生には循環器部門で、またその他の方にも大変お世話になっており、感謝申し上げます。連携を密にし、地域、両病院が共に発展していければと思います。今後何卒よろしくお願い申し上げます。

院長 中川 智和



診療時間	月～土 祝祭日	午前	午後	休診日	日曜日 祝祭日の午後
		8:00～12:30	14:00～19:00		
		8:00～12:30	休診		

医療法人 泉壽会 加納病院

〒919-0633 福井県あわら市花の杜1丁目2-39
TEL:0776-73-1001 www.kanouhp.jp/

ヘリコバクター・ピロリの検査について

研究検査科 血液主任 榎本 暢

ヘリコバクター・ピロリは、胃の粘膜に生育する細菌です。胃の内部は強い酸性(pH1～2)で通常の細菌は生息できませんが、ピロリ菌はウレアーゼという酵素によりアンモニア(アルカリ性)を作り出し、胃酸を中和して生き延びる事が出来ます。

ピロリ菌に感染すると胃炎や下痢を起こす事がありますが、この時点では症状の出ない事がほとんどです。しかし、多くの場合は除菌しない限り胃の中に棲み続ける事になり、感染が続くと慢性胃炎(ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎)を起こします。この慢性胃炎が、胃潰瘍や胃癌、十二指腸潰瘍などを引き起こすと言われています。

ピロリ菌感染を調べる検査方法には、内視鏡を必要としない検査と、必要とする検査があります。

(1) 内視鏡を必要としない検査

- ・尿素呼気試験:ピロリ菌の持つ酵素(ウレアーゼ)が尿素をアンモニアと二酸化炭素に分解する事を利用し、特

殊な尿素を飲んで呼気の中の二酸化炭素を調べます。

- ・ピロリ菌抗体測定法:血中や尿中のピロリ菌に対する抗体の有無を調べます。
- ・便中抗原測定法:糞便中のピロリ菌抗原の有無を調べます。

(2) 内視鏡による検査

- ・迅速ウレアーゼ試験:胃粘膜を採取し、ウレアーゼの活性を調べます。

ピロリ菌による慢性胃炎では、抗生物質による除菌療法を受けることが出来ます。

最近胃の調子が悪い、胃がキリキリするという症状の方は、「ヘリコバクター・ピロリの検査」を受けてみませんか?「ヘリコバクター・ピロリの検査」については、あわら病院外来にご相談ください。



外 来 担 当 医 表

(平成28年6月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総 合	内 科	津 谷	鈴 木	大 槻	見 附	清 水
	小 児 科	大 坂 *	川 満 *	大 坂 *	大 坂 *	川 満 *
専 門	リ ウ マ チ			津 谷	津 谷	
	血 液 ・ 腫 瘍			浦 崎 *	大槻(第2・4)	
	痛 風				津 谷 *	
	生 活 習 慣 病			鈴木(第1・3)		
	老 年			桐場(第2・4・5)		栗 田
	神 経			林(第1・3・5)		
	循 環 器	見 附	見 附			
	外 科	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤
	整 形 外 科	高 田				
	眼 科				吉 岡 *	
	皮 膚 科		若 原			若 原
	地 域 ケ ア					桐 場
	禁 煙 外 来	見 附	見 附			

● 受付時間8:30～11:30 ● 黄色枠は予約制 ● *印は午後診察 ● 休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。 ※専門内科の午後診察は、14:00～16:00です。

※禁煙外来の診察は、月曜日(8:30～11:30)・火曜日(10:00～12:30)です。

栄養管理室便り

栄養管理室 主任栄養士 内川 厳志

入院患者さんに美味しい食事を届ける事は、栄養管理室の使命の一つです。今回は、美味しい食事を届ける為に無くてはならない「温冷配膳車」の紹介を行います。



新しい温冷配膳車です

あまり聞き馴染みのない言葉かもしれませんが、温冷配膳車は、一度に沢山の食事を(約50人分)、温かい料理は温かく(60～65℃くらい)、冷たい料理は冷たく(5～10℃くらい)患者さんにお届けする事が出来ます。料理の温かさを感じ、食の楽しみを味わっていただくことは、患者さんの笑顔のサポートに繋がっていきます。

そんな温冷配膳車も、長年の使用により老朽化が目立ちまして…平成27年12月、新たに2台の温冷配膳車を購入しました。生まれ変わった「患者さんの笑顔のサポート役」を、これからもよろしくお願いします。

独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249

〈地域医療連携室〉TEL.79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261

URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教 育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

- ①京福バス(北潟花菖蒲園行き、あわら病院前下車)
- ②乗合タクシー(デマンド交通)[事前予約が必要]

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

- ①京福バス(あわら湯の町駅で乗換)
- ②乗合タクシー(デマンド交通)[事前予約が必要]

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、
またはホームページ(交通案内)をご覧ください。